

岩手県感染症週報

平成14年第31週（7月29日～8月3日）

岩手県結核 感染症情報センター

第31週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 3例（集団感染例）ありました。大船渡地区以外は散発例です。 **今注目の感染症**

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

3 類感染症

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が盛岡地区 5例、北上地区 1例、水沢地区 1例、大船渡地区

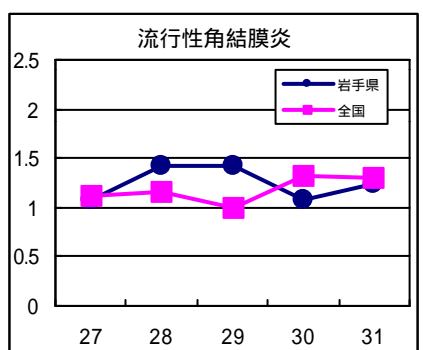
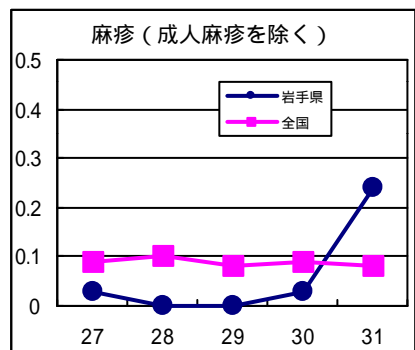
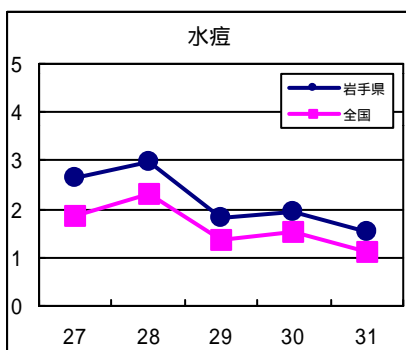
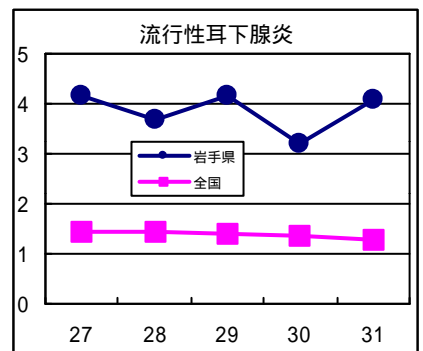
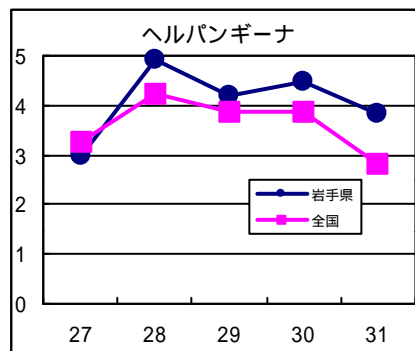
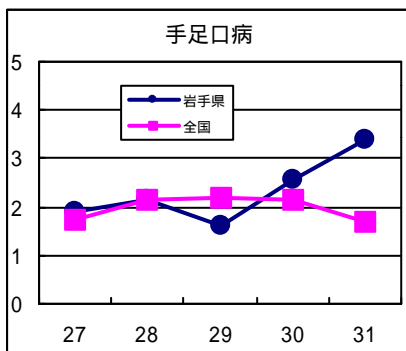
- ・釜石地区から急性ウイルス性肝炎の報告が1例ありました。輸血によるB型肝炎ウイルスの感染が疑われています。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・手足口病は、先週急増した久慈地区で定点あたり患者数が 22.5 とさらに増加しました。また、これまで患者数の少なかった水沢、一関、宮古地区でも増加傾向にあります。
- ・ヘルパンギーナは減少しました。先週まで特に患者数の多かった北上地区でも減少しており、流行のピークはほぼ越えたものと思われます。しかし、これまで患者数の少なかった宮古地区では定点あたり患者数が 7.0 と増加しています。
- ・流行性耳下腺炎はここ数週ほど、患者数の若干の上下はありますが、流行のピークにあるものと思われます。これから患者数は少しずつ減少していくものと予想されますが、引き続き注意が必要です。
- ・麻疹は、盛岡地区から7例、大船渡地区から2例の報告がありました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		27	28	29	30	31	
インフルエンザ	岩手県	0.48	0.24	0.08	0.11	0.02	→
	全国	0.05	0.04	0.03	0.02	0.01	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.05	0.16	0.05	0.08	→
	全国	0.17	0.2	0.2	0.25	0.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.55	0.63	0.53	0.21	↘
	全国	1.19	0.95	0.76	0.62	0.45	
感染性胃腸炎	岩手県	1.45	1.47	1.26	0.87	0.71	↘
	全国	3.58	3.22	2.61	2.52	2.38	
水痘	岩手県	2.66	2.97	1.82	1.95	1.53	↘
	全国	1.84	2.31	1.37	1.54	1.1	
手足口病	岩手県	1.89	2.13	1.61	2.55	3.37	↗
	全国	1.73	2.13	2.17	2.14	1.69	
伝染性紅斑	岩手県	0.05	0.13	0.11	0.03	0.05	→
	全国	0.85	0.62	0.47	0.39	0.28	
突発性発疹	岩手県	0.63	0.61	0.61	0.61	0.45	→
	全国	0.86	0.88	0.84	0.87	0.84	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	3	4.92	4.21	4.47	3.84	↘
	全国	3.26	4.25	3.88	3.89	2.83	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.03	0	0	0.03	0.24	↗
	全国	0.09	0.1	0.08	0.09	0.08	
流行性耳下腺炎	岩手県	4.16	3.68	4.18	3.21	4.08	→
	全国	1.43	1.45	1.41	1.34	1.29	
急性出血性結膜炎	岩手県	0.08	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	1.42	1.42	1.08	1.25	→
	全国	1.12	1.15	1	1.32	1.3	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→
	全国	0.3	0.36	0.49	0.5	0.38	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.15	0.15	0.05	0	↘
	全国	0.13	0.13	0.14	0.13	0.14	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.01	0.02	0.01	0.02	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 27	28	29	30	31	累計	31	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	24
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	6	444
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	39
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	22
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	12	8	4	4	30	66	184	1594
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	3	260
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	44
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	1	8	10	662
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	33
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	104
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	4	0	77
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	61
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	12	504
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	68
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	2	114
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	32
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	1	0	2	4	323
	破傷風	0	0	0	0	0	0	4	56
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	24
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	47
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	10	72	

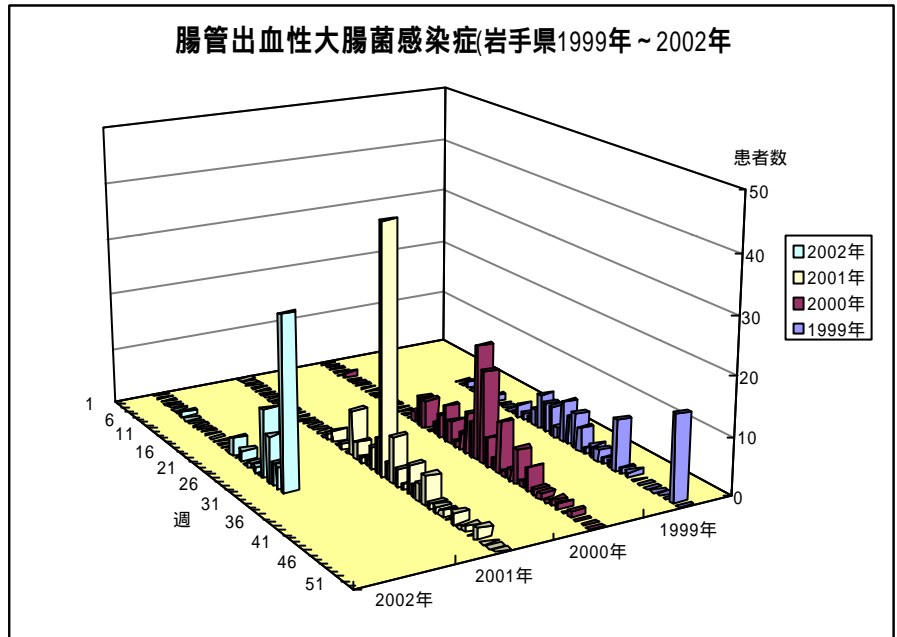
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症が各地で多発しています。31週には大船渡地区にある大学内での集団感染とみられる026の感染例で、保健所の調査で感染のわかった23例の報告がありました。そのほか、盛岡地区から5例（026が3例、078が1例、0111が1例）、北上地区から1例（026）、水沢地区から1例（0157）のいずれも散発例の報告がありました。

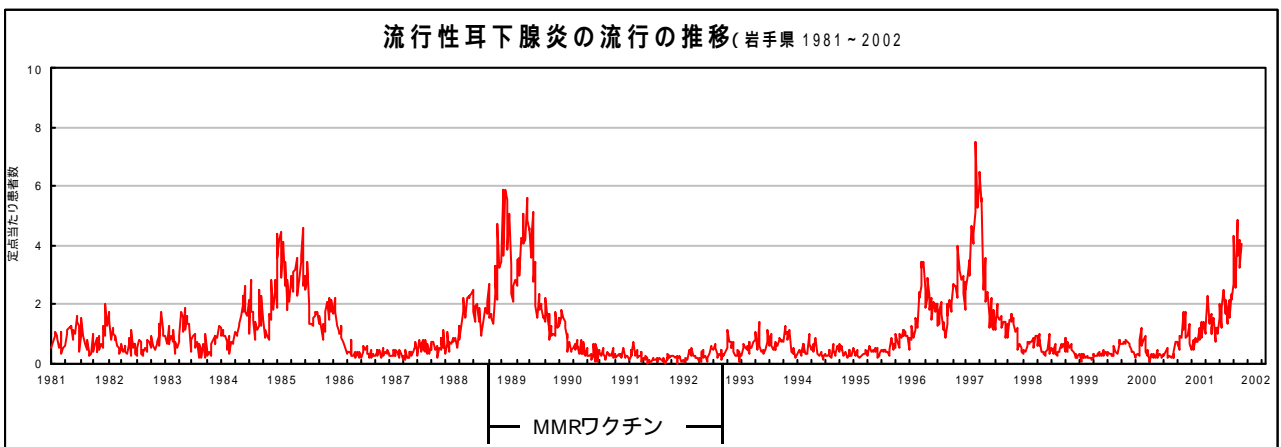
例年、梅雨の時期を過ぎると細菌性食中毒の増加とともに腸管出血性大腸菌感染症の件数も増えてきます。腸管出血性大腸菌は、比較的少ない菌量で感染し、小児や老人などでは、溶血性尿毒症症候群を併発することがあるため、注意が必要です。

腹痛、下痢（血便）の症状がある場合には、早めに医療機関で受診することが大切です。



流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎は4～5年の周期で流行を繰り返し、本年はその流行期にあるようです。ここ数週は、その流行のピークにあるものと思われます。これから冬にかけて患者数はゆっくりと減少するものと予想されます。



病原体検出情報

この週に検出した病原体はありません。

集団感染情報

7月17日に、大船渡保健所管内の医療機関から、北里大学水産学部の男子学生1名（20歳代）が腸管出血性大腸菌感染症（O26）に罹患している旨の届出がありました。

これまで、同保健所が実施した検便により、初発の患者を含め24名が感染していることがわかりました。

同保健所では、次のとおり感染の原因や感染経路について調査を実施しましたが、その特定には至っていません。

（1）7月17日に届出のあった初発の患者及びその友人の感染者について、その喫食状況調査、飲料水の検査を実施したが、感染の原因となるものは見受けられなかった。

（2）当該大学の学生等の検便を実施した結果、24名の学生、職員の感染が明らかとなったことから、次のとおり調査を実施した。

ア 感染した学生及び職員に対する聞き取り調査において、大学以外での生活等における共通点は見受けられず、また、地域の一般住民から感染者が発生していないことから、大学における感染が強く疑われた。

イ このことから、大学内にある食堂について、従事者の検便及び施設のふき取り検査を実施したが、腸管出血性大腸菌（O26）は検出されなかった。

ウ また、大学において使用している飲料水等は、学校事業所等水道であることから、その原水、浄水施設の底泥等、さらには実験用製氷器の氷を検査したが、腸管出血性大腸菌（O26）は検出されなかった。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

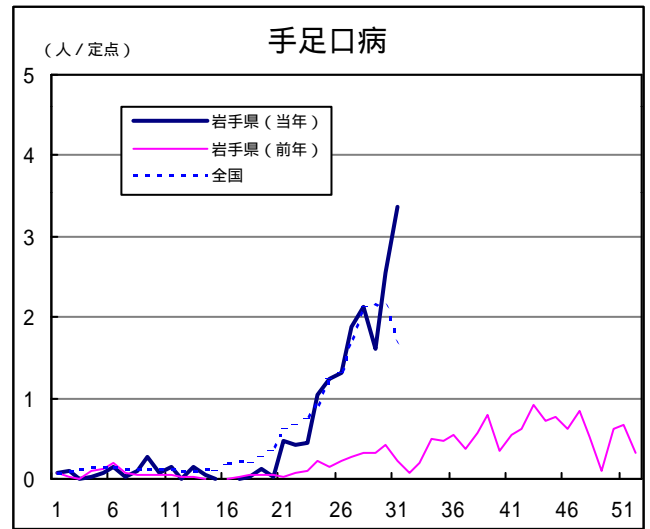
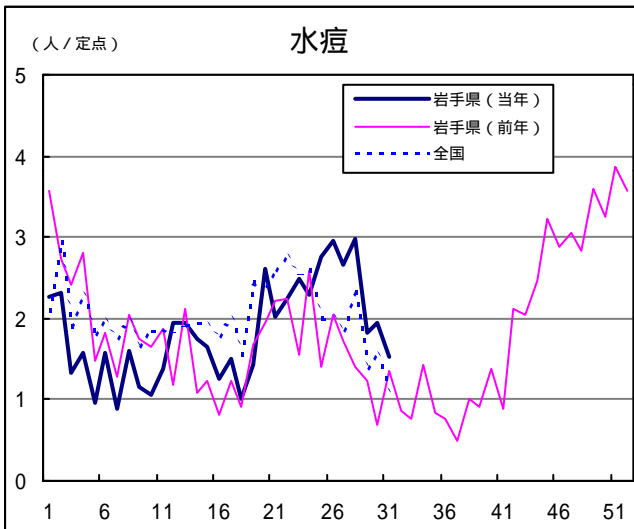
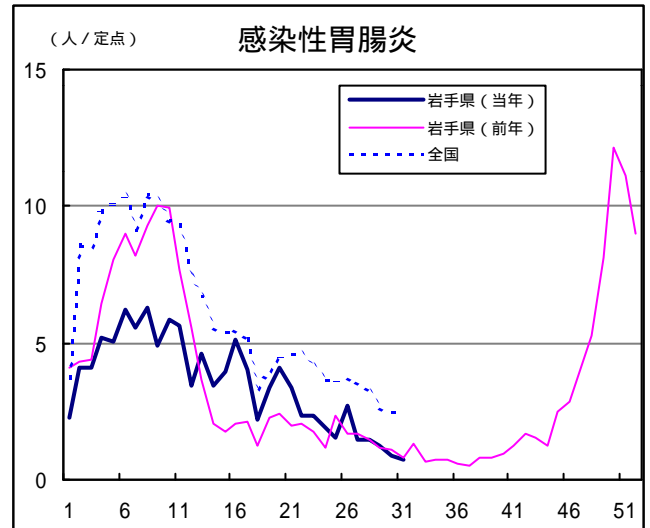
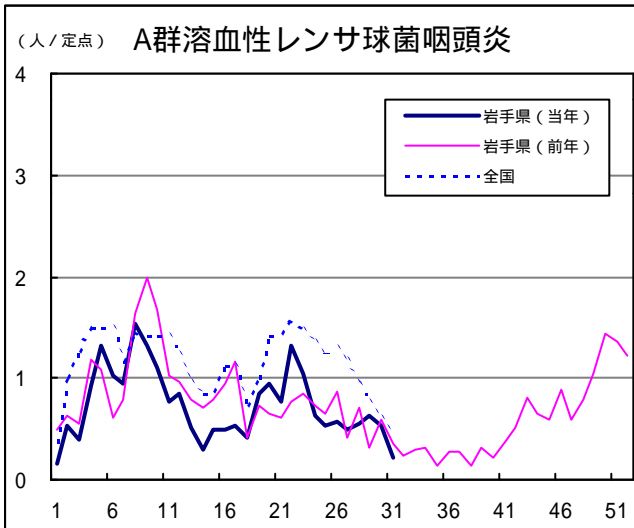
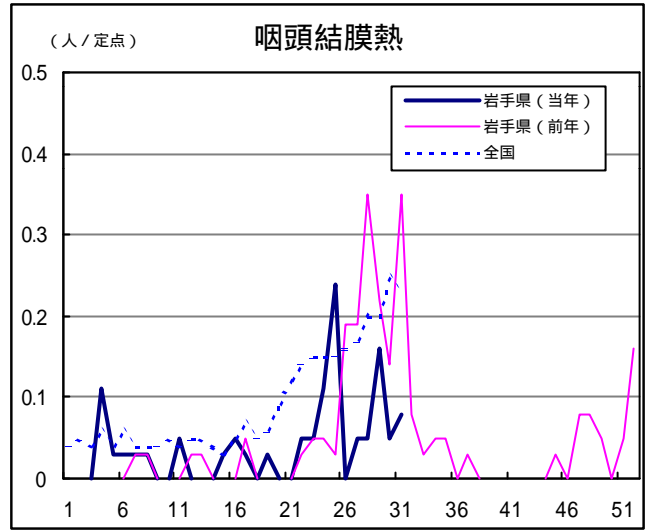
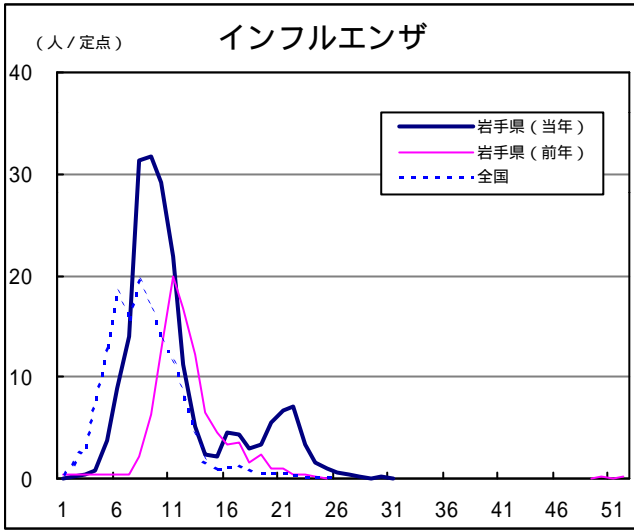
Q & A

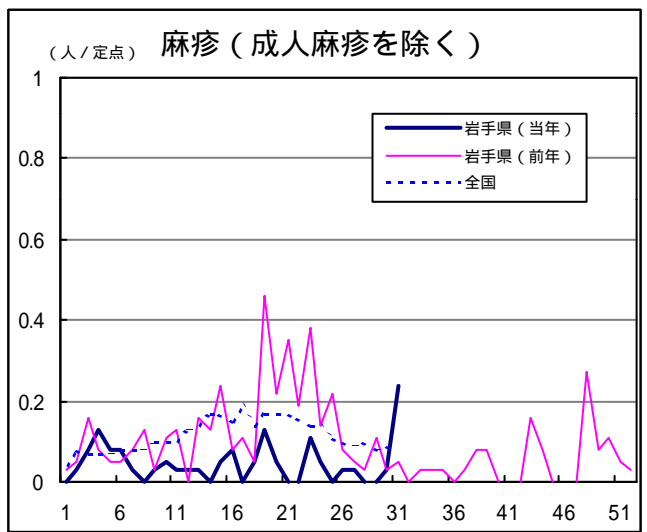
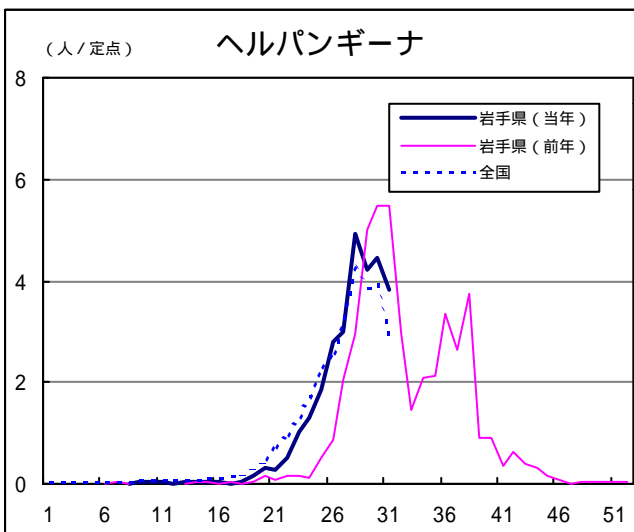
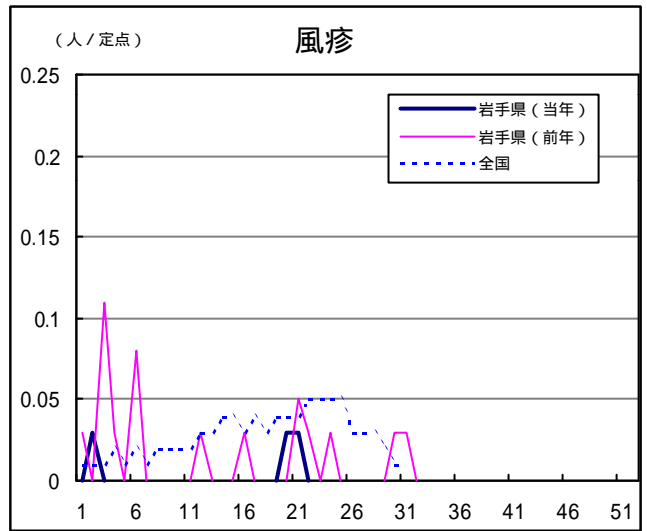
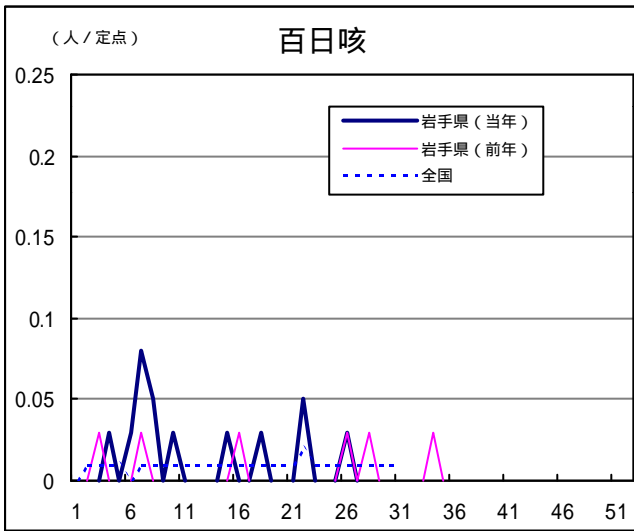
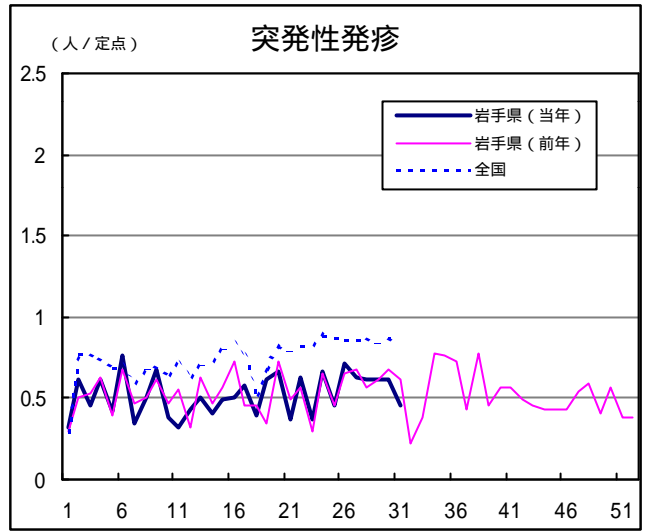
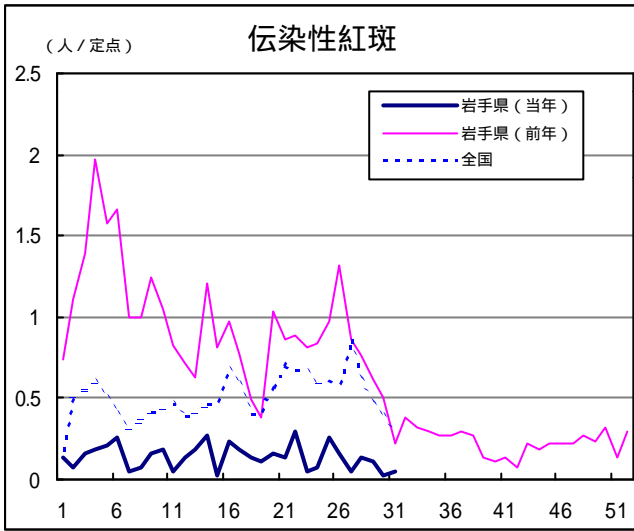
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

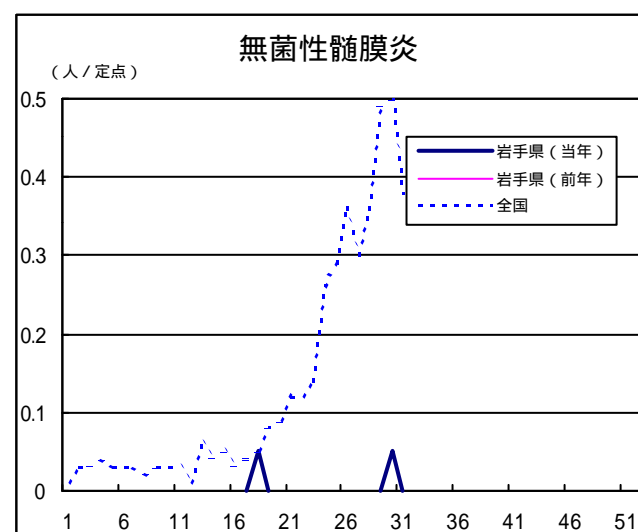
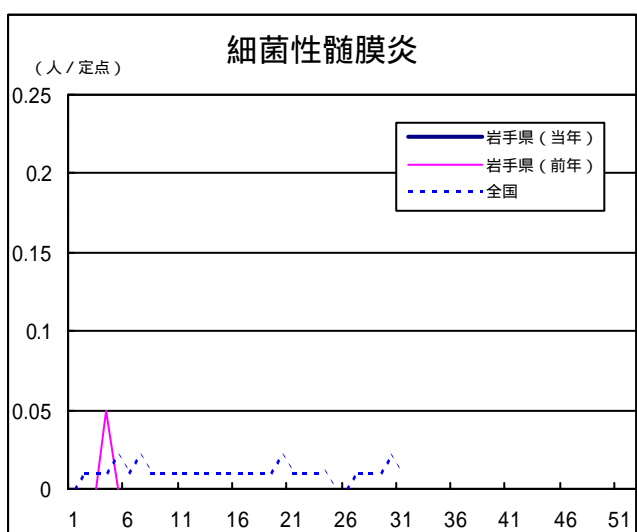
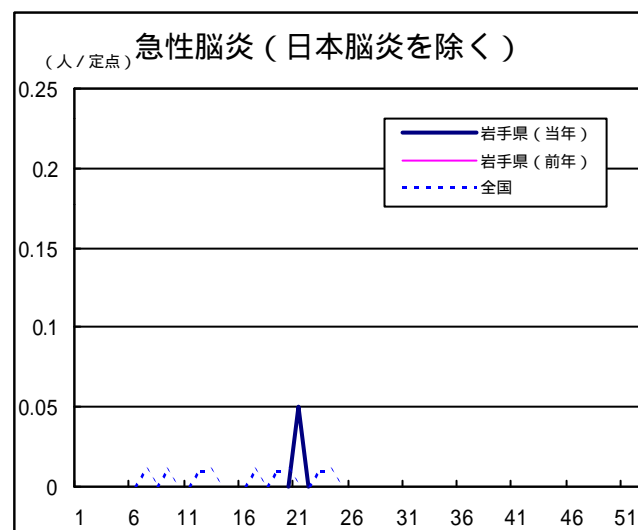
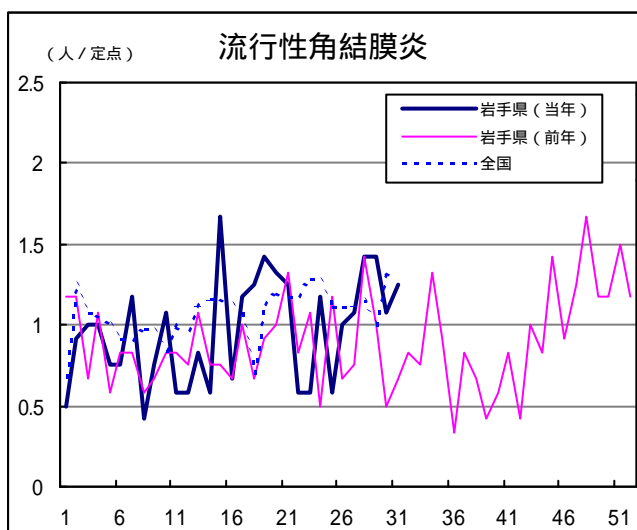
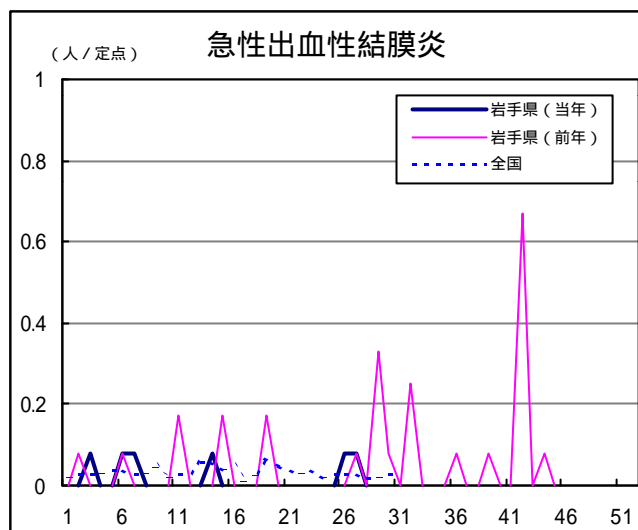
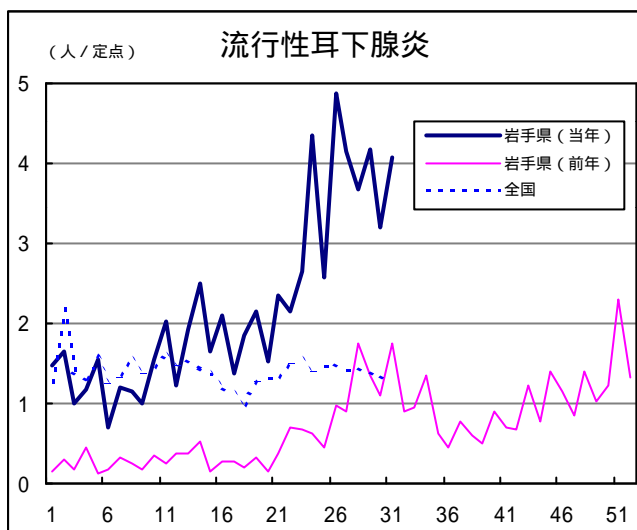
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

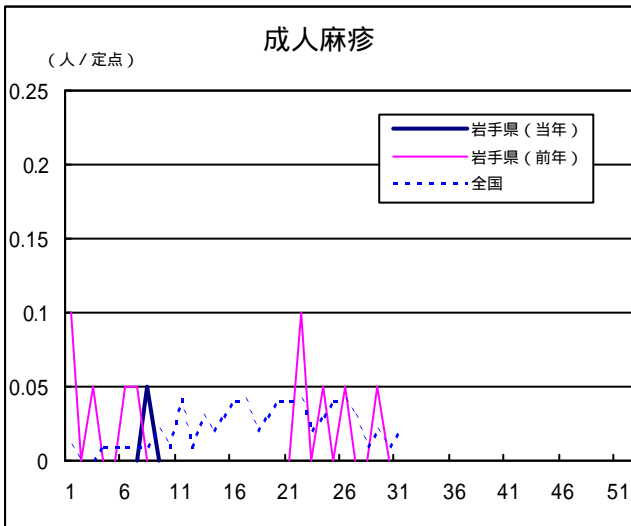
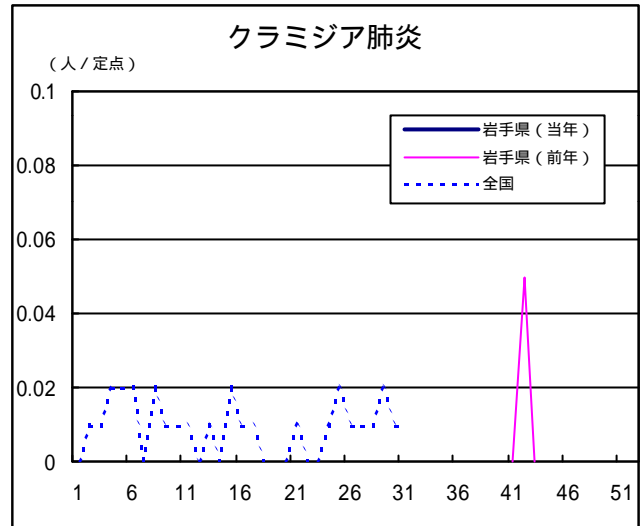
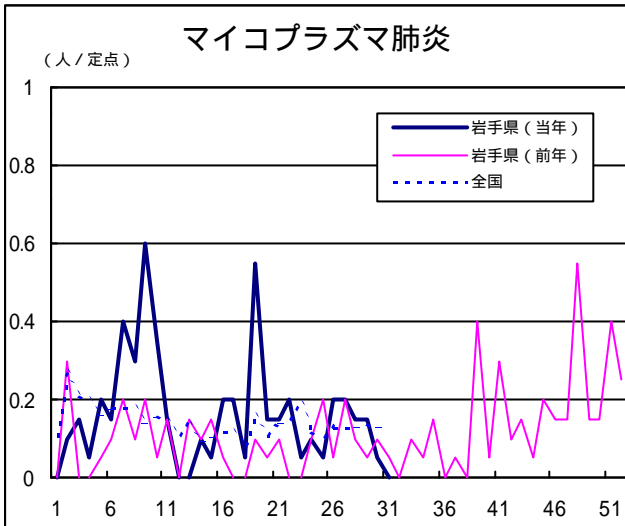
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成14年第31週 平成14年8月9日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>